

日本気候リーダーズ・パートナーシップ（Japan-CLP）による河野外務大臣表敬 河野大臣冒頭挨拶

- 外務省が推進する気候変動外交について、J-CLPから立派な賛同表明をご提出いただいたことに感謝申し上げます。外務省として気候変動外交にしっかり取り組んでいきます。
- 気候変動外交は、その国の外交力が試されるものです。例えば安全保障に関しては軍事力が関係しますが、気候変動に関してはどの国にもその国それぞれの強みと課題があり、知恵と決断をもとに取り組んでいける分野だと考えています。
- そのような状況の中で、本日、外務省内に「気候変動外交タスクフォース」を設置いたしました。これにより、地域を見る部局から機能を見る部局に至るまで、外務省の様々な課室が、それぞれの政策形成過程で気候変動問題についても十分考慮して政策立案をすることとなり、省内横断的に同問題に取り組んでいくことができるようになります。
- ビジネスに関しては、これまでの気候変動問題への対応にはコストがかかるという見方ではなく、脱炭素がビジネスにつながる、そして、ビジネスが脱炭素化を引っ張っていく時代となってきました。米国においても連邦政府はパリ協定からの脱退を表明しましたが、米国の企業や自治体は着実に気候変動対策に取り組む意志を示しています。
- 気候変動対策はCO₂を削減するだけでなく、国家の経済成長につながるものとして考えていく必要もあります。日本は気候変動分野において先進的な技術を有しており、イノベーションも盛んですが、それを活かして気候変動対策や経済成長に貢献していかなくは、何のために高い技術を有しているのかとの指摘も免れません。

- ぜひ、皆様をはじめとする日本のビジネス界が日本の気候変動対策を牽引し、気候変動対策の促進を通じて日本経済が再活性化するよう、皆様の今後の取組に期待しています。